

NPO都市災害に備える技術者の会 WG（ワーキンググループ）準備会議事録（案）

日時：平成17年3月5日 16:00～

場所：こうべまちづくりセンター2Fホール

出席者：笹山，山田（俊），森田，太田，湯原，山崎，山中，片瀬，川上，伊藤，林，國眼  
（敬称略）

準備会配付資料をもとに，太田理事が説明を行った。

<本日決める事項>

WG開催場所，WG開催頻度，開催日，成果の目標，WGの経過や成果の発信方法，当面のWGリーダー

太田理事より以下の説明があった。

・WGの内容について

Aグループ：災害後の対応 [救助・救援][復旧・復興]ワーキンググループ

Bグループ：災害前の対応 [復興・再建][再編・整備]ワーキンググループ

・上記～について事前に意見を提出された方の内容

WG申込み時に寄せられた意見・提案の説明

本日欠席の方から寄せられた意見の紹介（5名分）

WEB上で閲覧できるシステムの説明（別紙参照） 後日別途ご案内します

決議事項

WG開催場所：

最初の2回（4月，5月の各月に予定）はこうべまちづくりセンター3F（or 6F）で行うこととする。1）会場への入り方等、片瀬さんから連絡がありましたので後述します

その後は委員からの意見や都合を参考にし，必要に応じて変更する。

WG開催頻度，開催日：頻度は月に一度程度，開催日は月曜の夕方としてスタートさせる。その後委員からの意見を参考にし，必要に応じて変更する。

**第1回，第2回は4/18（月）および5/16（月）とする。時間は18:00～2hr程度とする。**

上記2回分は取りかかり初めであり，グループ分けせずA Bの両グループが参加することとする。

成果目標：WGで新しい研究を行うことは時間と手間がかかりすぎるため，これまで出ている成果や研究などを活用し，制度化を目標とした政策提言していくことが考えられる。また，取り組む際には，他のNPOや研究機関等が同じ問題へ取り組んでいないかを確認する必要がある。

今後第1回，第2回WGで煮詰めていく。次回開催時に各自目標を考えてくること。

参加者で検討して取組順序を決めていく。

WGの経過や成果の発信方法

基本はMLとし，会員全員が同じ情報を共有できるようにする。MLが受けられない人にはFAXを使用する。経過や意見や成果なども逐次会員用MLで情報を共有する。また，会員個人の情報発信できる場として，WEB上で各自がレポートをアップロードできるページを作成する（作成済み）

WGリーダー：

当面は太田理事が世話人となって進めていく。今後多方面の技術が必要となることが予想されるため，WGの内容や進行に応じてリーダーを決めていく。

（議事録作成：國眼）

片瀬さんから、ワーキンググループ会場について、連絡がありました。18時以降の入館となりますので、正面からは入れないようです。

---

1. 開催場所 ; まちづくりセンター 6階 会議室(3階からの変更)
2. 入り口 ; 18時以降の入館は西側道路からとなります。  
インターホーンで「NPOのワークに参加」と告げて頂き  
ますと鍵を開けます。  
エレベーターは原則5階(事務局)、6階(会議室)への  
直通運転になります。
3. 4月18日と5月16日の日程は予約を終えています。

なお、まちセン研究ネットワークには登録をしておきました。活動場所まで規定はしていませんので、会場が先日の会でありましたように大阪や京都に変わっても登録には支障ありません。

片瀬 範雄